



社会教育便り

幡多地区社会教育連絡協議会研修会（公民館部会・人権教育部会）

平成28年12月1日（木）に四万十市立中央公民館で「幡多地区社会教育連絡協議会研修会（公民館部会・人権教育部会）」が行われ、6市町村から22名の参加がありました。研修会での学びを通して、社会教育の充実による「人づくり」や「地域づくり」のヒントを得ることができたのではないかと思います。

公民館部会

実践発表

『学社融合で子どもを育てる

～かわうそ未来塾でみる地域のつながり～』

須崎市立上分公民館主事 吉村 直樹 氏

須崎市立上分小学校教頭 中野 博文 氏



・公民館が地域コミュニティの核となって、「地域と子ども」「地域と地域」「地域と地域外」をつないでいる。

・地域ボランティアが16年間関わり続けている組織体制がある。

・地域の方々の協力のもと、異学年で長期集団宿泊体験を行って児童の成長につなげている。

グループ協議

テーマ【実践発表を聞いて、実践できそうなことは？

（一部抜粋）】

・地域と子どもたちをつなぐ
→たこ作り・キャンプ等

・地域と地域の方をつなぐ
→公民館便り等の発行で情報を発信していく。

・学校と協力できれば、自然体験学習等ができそう。

人権教育部会

講演

『問われているのは自分の生き方』

NPO法人はらから職員 川崎 健太郎 氏

・児童館指導員として、差別や課題をどう乗り越えていくのかを子どもたちと一緒に考えている。

・これからの人権教育では、差別を自分ごととして考えていくことが大切である。



・人権感覚をみがくことで自分の人生が豊かになる。

グループ協議

テーマ【これまでに心に残った人権講演や研修会など（一部抜粋）】

・今日の川崎さんの話で、自分の生き方をもっているという姿が良かった。

・今回のような実体験に基づいてのお話、ご本人の心境等を聞ける人権講演はあまりないので、いろいろと勉強になりました。今後もこういったお話が聞けると良いなと思います。

幡多地区社会教育委員連絡協議会及び幡多地区社会教育連絡協議会合同研修会

平成29年1月31日（火）に南国市立久礼田公民館で「幡多地区社会教育委員連絡協議会及び幡多地区社会教育連絡協議会（公民館部会）合同研修会」が行われました。2年に一度の現地研修会に4市町から15名の参加がありました。講師の館長さん自身が楽しみながら取り組まれている姿や公民館を核とした様々な生涯学習の取組は、地域に根差した公民館活動活性化に向けて大いに参考になったと思います。

講話

「地域住民が『集い・楽しみ・学ぶ』を目指して」
南国市立久礼田公民館館長 川村 忠義 氏

- ・歴史ガイドブック「久礼田の昔と会おう」を刊行し、史跡めぐりを通して交流を重ねている。
- ・これまでに25回の開催を重ねる地域の幅広い世代が交流する芸能文化祭
- ・地区ごとのマスコットキャラクターや応援旗もある地区民運動会



史跡めぐり



久礼田城跡



領石送り番所跡



熊野神社絵金屏風



殖田神社

読書を通して「幡多の教育的風土づくり」を

西部教育事務所では、子ども読書の日である4月23日に「大切な人へ本を贈ろう」と、子ども読書の日になんで、「毎月23日には本を読もう！」というリーフレットを作成し、啓発を行っています。子どもにとって読書は、言葉を学び、感性を磨き、想像力を豊かにする等、大変有意義なものです。

読書を身近に感じる取組を通して、子どもたちを読書好きにするとともに、幡多の教育風土づくりを皆さんとともに進めていきたいと思ひます。

本を贈った方の感想

店頭に平積みしてあった本屋大賞を受賞した本を購入し、妻にプレゼントしました。妻が、「読みたかった本。こんなに早く単行本で読めるとは。」と喜んでくれました。気に入ってくれた様子を見て、こちらも嬉しくなりました。

（黒潮町在住）



第三次高知県子ども読書活動推進計画（平成29年度から5年間）

第三次計画には、読書を取り巻く社会情勢の変化と今後重視すべき視点を踏まえ、「発達段階に応じた読書活動の推進」や「情報を読み取り活用する子どもを育てること」等に重点的に取り組んでいくことが示されています。